

法務省人間科学系体験プログラム(法務教官・法務技官)

法務教官～少年院等で指導・教育等を担う専門職員

法務技官～少年鑑別所等で勤務する心理学の専門職員



◇対象

人間科学(心理、教育、福祉、社会等)を専攻している大学生・大学院生等

◇開催場所

法務教官～北海少年院・紫明女子学院(千歳)

法務技官～道内少年鑑別所(札幌・函館・釧路・旭川)

◇開催期間

夏季(7月～9月)、春季(1月～3月)

◇R6実績

道内大学中心、夏季・春季を通じて30名程度

学生アンケートの抜粋

・学校で、最近始まった「個」を重視する動きが少年院では既に行われていることに感動しました。

・授業を通じて少年たちの人間らしい、少年らしい笑顔を見ることができ、常に厳しいものではないことを知りました。

・少年の心を開き、通じ合い、情報を聞き出すことの難しさを感じた。

・「再犯・再非行防止」を目標に、イメージしていたよりも柔軟で多角的な視点が矯正には必要だと感じた。

少年院の体験プログラムがおすすめな人

- ◆ 生活の中で、子どもの「生きる力」を育んだり、個々の特性に応じた支援を行っていきたいと考えている
- ◆ 非行少年の改善更生・立ち直りを支える仕事に興味がある



少年院のカリキュラム案

日	内容	ポイント
1日目	(1)オリエンテーション (2)所内見学 (3)講義:少年院の仕事	少年院の雰囲気を肌で感じてみませんか? 少年がどのような生活をしているのか、具体的なイメージを持てるように、職員が丁寧に説明します。
2日目	(1)少年の朝礼見学 (2)講義:矯正教育、社会復帰支援、少年院で勤務する心理技官の役割など	少年院が行っている矯正教育とは? 少年にどのような働き掛けを行っているのか、職員がどのような思いや考えをもって、少年と関わっているのかなど知ることができます。
3日目	(1)講義:関係機関・地域とのつながり (2)若手法務教官との座談会	少年院に閉鎖的なイメージを抱いていませんか? 少年院と関係機関や地域の方とのつながりが深いのは意外のようです。 現役職員との対話が弾み、時間を忘れます… 話せば話すほど、疑問や知りたいことが湧いてでてくる、そんな弾んだ雰囲気です。

少年鑑別所の体験プログラムがおすすめな人

- ◆ 心理学の専門的知識等を活かし、なぜ非行に走ったのかを明らかにし、今後の支援方針を立てる仕事に興味がある
- ◆ 将来、公認心理師の資格取得を考えている



少年鑑別所のカリキュラム案

日	内容	ポイント
1日目	(1)オリエンテーション (2)講義:心理職の役割 (3)所内見学 (4)少年簿等(模擬)の閲読	少年鑑別所の“怖い”“厳しい”イメージチェンジ 明るく落ち着いた雰囲気を目で肌で感じられます。また、矯正施設の心理職は、自分がやりたい/やってみたい仕事か確かめるチャンスです。
2日目	(1)講義:鑑別の実際 (2)実習:心理検査受検(体験)、鑑別面接の実施(模擬)	鑑別体験してみませんか? 心理面接や心理検査を実施したことがない学生の方も、やってみて分かることが多いと、一番印象に残っていることに挙げています。
3日目	(1)実習:判定会議(模擬) (2)講義:地域における心理的・教育的支援 (3)講義:心理技官の職域や特殊性等について (4)座談会	最終日が最大の山場▲ 参加者は、判定会議(模擬)で、自分なりの見立てと処遇方針を発表するために真剣に取り組んでいます。同じ事例でも、人によって見方や意見が異なるという気づきが、皆さんにとって大事な体験になっているようです。

問合先

札幌矯正管区 第三部 少年矯正第一課・第二課

011-783-5063